

## 農地、農業近代化生産施設などの災害復旧に対する対策を強く要請

甚大な被害を受け、  
農業者の自助努力のみでは復旧困難

7月29日、宮腰光寛農林水産副大臣、野村哲郎参議院議員、加治屋義人参議院議員らが現地調査のため本町を訪れました。

井上町長は被災状況を説明し、農業生産施設（ハウスなど）の災害復旧について、特例として農林水産施設災害復旧事業の対象とすることや農地・農業用施設の災害復旧事業費の確保について、事業費配分に配慮することなど、早期復旧に向けた対策について強く要請しました。



被災した下湯田地区を視察する宮腰農林水産副大臣



被災状況の説明と早期復旧に向けた対策を要請する井上町長



参議院災害対策特別委員会に要望する被災地域住民代表者

被災地域住民代表者  
直接、要望を伝える

国民の生命と財産を第一に

8月17日、参議院災害対策特別委員会が被災地区の視察のため本町を訪れました。

当日は、被災地域の住民代表者との懇談会が行われ、住民代表者は川内川の抜本的改修や鶴田ダムを多目的ダムから防災ダムへ改めることなど、参議院災害対策特別委員会に対して直接要望を伝えました。

住民代表として出席した虎居町の村田修二さんは「被災地域では、地域を離れていく方も多く公民会運営が困難な集落もある。商店街では、店舗を再開したいが、また同じような河川の氾濫が起こるのではと店舗再開など商店街復興への策が講じられない状況である。地域住民が安心して暮らせるよう、川内川の抜本的改修を早期に実現してほしい」などと強く要望されました。



要望を聞く参議院災害対策特別委員会